

【カリキュラム・ポリシー】修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「一般教養科目」「研究指導」により、本専攻の定める「本学建学の精神に基づき、科学的精神と経営学に関する深い知見を受け、経営に関する高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、社会と文化の進展に寄与する人材を育成する」といった目的を実現するための教育課程を編成する。

(1)「専門科目」では、特論、演習等の授業科目を重点的・効果的に配置し、高い専門性とその実践的応用力を取得させる。具体的には、学士課程において培った教養及び専門教育を基礎とし、「経営分野」と「経営科学分野」の広範な学識にくわえ、「データサイエンス」「ディジタライゼーションサイエンス」といった研究領域の高度な手法を教授することで、より精深な経営学の理論を修得させるとともに、情報技術の進展に伴う産業社会の急速な変容にも応えられる広範な実践力の涵養にも努める。

(2)「一般教養科目」では、正しい倫理観と、幅広くかつ深い学識を涵養する授業科目、コミュニケーション能力・国際性等を養う授業科目を配置する。

(3)研究指導の過程では、国内外の文献の調査、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通して、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する力、専門性を要する研究開発力、及び課題解決力を高め、研究者又は高度職業人として国内外で国際的な視野を持って活躍できる能力を育成する教育を行う。

